

阿賀野市農業技術情報

NO・2 令和5年7月発行
阿賀野市農業振興協議会

【この時期の管理ポイント】

- 中干し後は、間断灌水や飽水管理により、根の健全な発育を促し丈夫な稲づくりを目指しましょう！
- 登熟を高めるため、ケイ酸質資材を積極的に施しましょう！
- 穂肥は生育診断により、適期に施用しましょう。全量基肥施肥（一発施肥）でも、葉色が低下した場合は追肥しましょう。
- 極早生や早生品種は、1回目の穂肥時期を迎えるので、適期に穂肥を施用しましょう。
- 近年、カメムシ類による斑点米の発生が増加傾向にあり、コシヒカリでも多発している状況です。まずは畦畔・農道の草刈りを徹底し生息数を減らしましょう！

1 6月20日現在の水稻生育状況

(1) 田植え後の低温・少照、深植えや深水管理により、生育の進みは緩慢となりましたが、6月に入り気温が高温で推移していることにより、平年並みに回復してきています。

(2) 6月20日現在、コシヒカリの生育状況（ほ場間差大きい）

目標値比較 草丈：長い 茎数：やや多い 葉数の進み：並 葉色：濃い
 平年値比較 草丈：やや短い 茎数：並 葉数の進み：並 葉色：並

表1 水稻生育状況（6月20日現在）

品種名	地域名		田植日	草丈(cm)			茎数(本/m)			葉数(L)			葉色(SPAD)		
				本年値	前年値	比(%)	本年値	前年値	比(%)	本年値	前年値	差	本年値	前年値	差
コシヒカリ	水原	下条	5/18	35	31	113	286	239	120	7.8	7.5	0.4	41.6	39.6	2.0
	京ヶ瀬	京ヶ島	5/3	47	40	119	476	456	104	9.7	9.7	0.0	42.1	39.5	2.6
	安田	嶋瀬	5/3	43	40	107	431	474	91	8.9	9.0	-0.1	41.6	44.6	-3.0
	笹神	七浦	5/3	46	36	126	381	361	106	9.0	9.1	-0.1	40.5	37.0	3.5
	笹神	沖	5/3	36	31	117	340	336	101	8.7	8.7	0.0	35.9	39.0	-3.1
	平均		5/6	41	36	116	383	373	103	8.8	8.8	0.0	40.3	39.9	0.4
こしいぶき	水原	中湯	5/9	47	39	121	489	611	80	9.4	8.8	0.6	44.6	44.1	0.5
	京ヶ瀬	田山	5/5	46	36	129	391	453	86	9.7	9.3	0.4	43.2	38.1	5.1
	安田	籠田	5/9	39	36	110	353	456	77	9.1	8.7	0.4	42.8	42.7	0.1
	平均		5/7	44	37	120	411	507	81	9.4	8.9	0.5	43.5	41.6	1.9

2 中干し後～穂肥までの管理（溝の確認・飽水管理・ケイ酸質資材の積極的な施用）

6月22日発表の北陸地方の1ヶ月予報では、平均気温は高く、日照時間、降水量はほぼ平年並の見込み。特に期間の前半は、かなり高くなる見込み。

長雨や高温、ダシ風など気象変動に負けない技術対策が必須となっていますので、下記の対策を参考に実践し、気象変動に負けない稲づくりを徹底しましょう。

(1) 切った溝の手直し、連結を確認しましょう

- ・迅速な水の供給と排水、湯水時の効率的な水利用を図るため、切った溝の手直しやタテ溝とヨコ溝の連結、水口と水尻とのつながりを確認しましょう。
- ・中干し後は、飽水管理や間断灌水（浅水で湛水→足あとに水が残っているくらいまで減水→再び浅水湛水）を継続しましょう。
- ・ダシ風が予想される場合は地域間で協力し合い、水利用が集中しないよう早めに対応しましょう。

(2) ケイ酸質資材の積極追肥で登熟向上を図りましょう

- ・稲は、出穂40日前頃から出穂期にかけて、ケイ酸を最も多く吸収します。出穂40～35日前のケイ酸追肥は丈夫な稲づくりとともに登熟向上に効果的です、積極的に施用しましょう。

表2 主なケイ酸質資材の施用例

資材名	施用時期	施用量(kg/10a)
けい酸加里 [®] ミア34	出穂35～40日前	20～40
マルチサポート2号	出穂40日前	20～40
ミネラル三味	出穂20～40日前	15～30

★ケイ酸の効果

- ・受光態勢が良くなり登熟を高めます。
- ・根の機能を高め、根腐れ防止や吸水力等を高めます。
- ・高温時、葉面温度の上昇を抑え光合成能力の低下を防止します。
- ・茎葉が丈夫になり病害虫に対する抵抗力が強まります。

3 穂肥施用のポイント

6月20日現在の生育による水稻の出穂期は、平年に比べて2日程度早くなる見込み

表3 出穂予想と穂肥の施用量・時期のめやす

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量合計(kg/10a)	穂肥時期(月/日、kg/10a)	
				1回目	2回目
ゆきん子舞	6/30	7/22	5～6	6/27～6/29(-25～-23)	7/8(-14)
つきあかり	7/2	7/24	5～6	6/29～7/1(-25～-23)	7/10(-14)
こしいぶき	7/3	7/26	2～3	7/3(-23)	7/12(-14)
コシヒカリ	7/11	8/3	1～3	7/16～7/19(-18～-15)	7/24(-10)
新之助	7/18	8/10	1～3	7/20～7/23(-21～-18)	7/29～7/31(-12～-10)
五百万石	6/28	7/20	1～2	6/30(-20)	7/8(-12)
わたぼうし	6/28	7/21	2～3	6/28～7/1(-23～-20)	7/9～7/11(-12～-10)
こがねもち	7/6	7/29	1～3	7/11～7/14(-18～-15)	7/19(-10)

※幼穂形成期：幼穂長1mm以上の穂が全体の80%以上を占めた日

※穂肥時期下段（ ）は出穂前日数

※コシヒカリと新之助、こがねもちは5月10日頃移植、その他品種は連休移植を想定し予想したものです。田植え日やその他環境条件により、出穂期は前後します。

(1) 出穂期は、6月20日現在、「平年より2日程度早まる」と予想しています。出穂期は、田植え日、今後の天候により変動しますので、穂肥作業の「めやす」としてください。

(2) 穂肥の施用に当たっては、必ず生育診断を行いましょう。全量基肥施肥（一発施肥）でも、葉色が低下した場合は追肥しましょう。

(3) 極早生や早生品種は、間もなく1回目の穂肥時期を迎えるので、生育診断を必ず行い、適期に穂肥を施用しましょう。

(4) 穂肥に使用する肥料の種類や施肥体系による使用時期や施用量に注意しましょう。(下表)

表4 肥料の種類及び施肥体系別穂肥施用のめやす(コシヒカリ)

施肥体系	肥料の種類	出穂前日数					
		30日前	25日前	18～15日前	10日前	6日前	3日前
分施	化学肥料	-	-	1回目	2回目		3回目 ★葉色(SPAD値)31以下の場合のみN1.0kg
	有機質肥料						
	有機由来N:50%	-	1回目	2回目			3回目 ★出穂期6日前の葉色(SPAD値)33以下の場合のみN1.0kg
	有機由来N:100%	1回目		2回目			3回目 ★出穂期6日前の葉色(SPAD値)33以下の場合のみN1.0kg
基肥一発	化学肥料			追肥 ★出穂期の葉色(SPAD値)32～33以下と予想される場合のみN1.0kg			

カメムシ類による斑点米発生防止対策を徹底しましょう

近年の阿賀野市のカメムシ類主要種はアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメです。
 (1) イネ科雑草がカメムシの生息場所になります。畦畔、水田内の雑草対策を行いましょう。
 (2) 早生品種や多発生地域のコシヒカリは追加個人防除を検討しましょう。

写真提供：新潟県作物研究センター

阿賀野市の主要種はカスミカメ類



(1) 雑草対策の徹底

畦畔や水田内に下図のような穂をつける雑草があると、カメムシが卵を産んで繁殖してしまいます。イネを加害する世代が増えないように、今のうちから生息場所を減らしましょう。また、薬剤散布を行っても雑草があると生き残る確率が上がります。

- ・イネ科雑草が穂をつけていないか注目して刈り取りましょう。これからの季節はメヒシバが主な繁殖場所になります。
- ・水田内に生えている雑草はカメムシの拠点になります。ホタルイ・ヒエは早めに除去しておきましょう。

この雑草に注意！



(2) 追加防除の実施

- ・共同防除はコシヒカリに合わせた1回防除になっています。出穂が共同防除より10日以上早い早生品種は、共同防除前に個人防除を検討しましょう。
- ・液剤や粒剤など剤型にあった適期に防除を行いましょう。
- ・薬剤散布時には畦畔の雑草の草刈りを行っておくことで防除効果が高まります。

農作業中の熱中症に注意!!



農作業中の熱中症による死亡事故は、8割以上が7~8月に発生しています。中でも、70代以上の方が死亡者の約9割を占めています。一般的に高齢の方は暑さや水分不足を感じにくくなるとされており、本人が気付かないうちに熱中症になっているケースも少なくありません。熱中症に対する正しい知識を付けて身につけて、安全に作業を行いましょう！

予防のポイント

○高温時の作業は避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業。



○単独作業は避ける

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて、声を掛け合うなど、定期的に異常がないか確かめ合う。



○こまめな休憩と水分補給

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業。



熱中症かもしれないと思ったら



代表的な症状

- ・手足がしびれる、冷たい
- ・めまい、吐き気がする
- ・頭痛がある
- ・汗がでない、体が熱い
- ・意識の障害がある
- ・体がだるい
- ・まっすぐ歩けない



応急処置

- ・涼しい場所への避難
 - ・服を緩め風通しよくする
 - ・扇いだり、水をかけるなどして体を冷やす
 - ・水分や塩分を補給する
- ※脇の下や両側の首筋、足の付け根を冷やす



病院で手当を受けましょう！

- ・意識がない
- ・水が飲めない
- ・応急処置しても改善しない

阿賀野市のホームページからもご覧いただけます！

阿賀野市 農業技術情報

検索

もしくは、二次元コードを読み取ってください。

